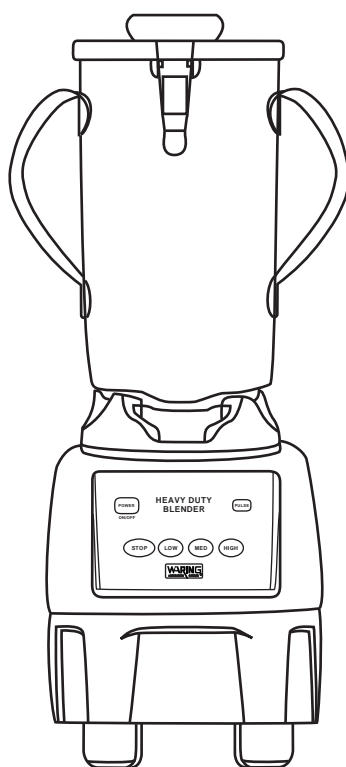
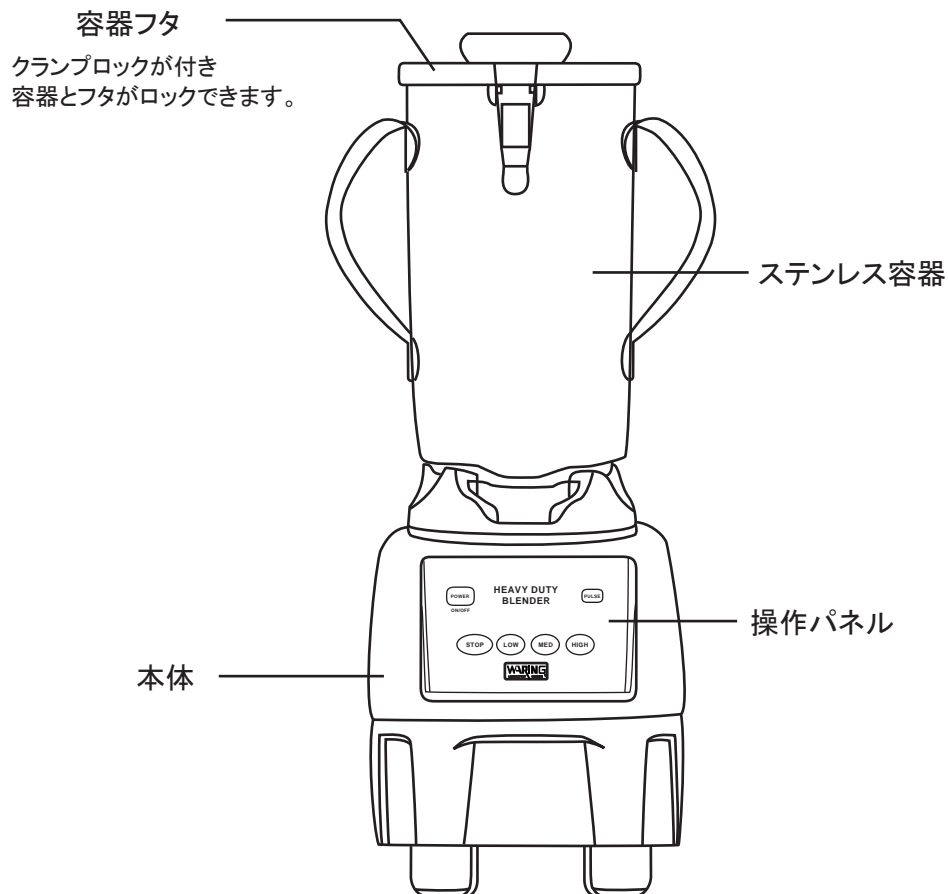
LABORATORY BLENDER

LBC-15

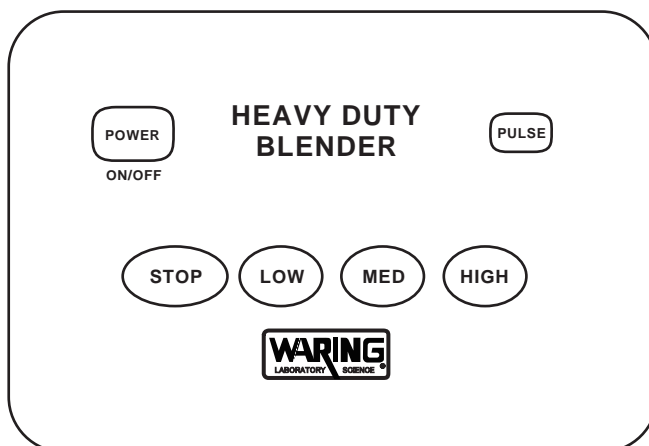
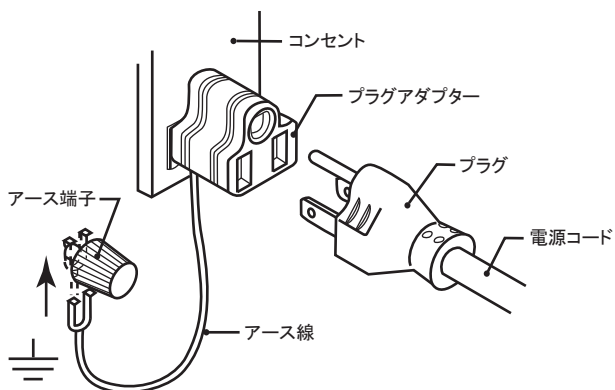
取扱説明書

ワーリングブレンダー　　　LBC-15

この度はワーリング ラボラトリブレンダー LBC-15 をご購入いただき、 誠に有り難うございました。本機を正しく事故のないようお使いいただく為に、 ご使用前に必ずお読み下さいますようお願い申し上げます。

各部名称と仕様

仕様

型式	LBC-15
電源	AC120V, 50/60Hz, 15Amps
回転数	Low : 14,000rpm　Med : 16,300rpm　High : 18,500rpm
寸法	275 x 290 x 660mm
重量	15.7kg
付属品	4L SUS 容器 (カッター組込済)

操作パネル図

POWER・・・メインスイッチ
PULSE ・・・パルス
STOP・・・・停止
LOW ・・・・低速
MED ・・・・中速
HIGH・・・・高速

電源プラグとコード

操作手順

1. このブレンダーを運転する前に、 電源コードがコンセント差込口から取り外している事を確認して下さい。
2. モーターベースに 4L ステンレス製容器を所定の位置にしっかりと据え付けて下さい。
容器が一方に傾いたりしないように正しく置いて下さい。
3. 容器の中に試料を入れ、 フタをしてクランプでフタと容器をしっかりと固定して下さい。
本機は主に液体に固形物を投入して粉砕、 攪拌するブレンダーです。 液体分では最小 500mL 以上でないと十分な粉砕、 攪拌ができません。 そして、 最大容量は 4L です。 容器にマーキングされている [MAX] 線は最大処理量ラインを表し、 4L の目安ラインになります。 4L 以上で機械を作動させますと試料は容器より溢れます。
4. 固形物のみの粉砕処理では粉砕量が著しく少なくなります。
最大処理量はおよそ容器容量の 3 分の 1 程度を目安にして下さい。
5. 準備が整ったら、 コンセントに電源コードのプラグを差し込んで下さい。 本機の電源コードのプラグは三又です。 2 極コンセントの場合は付属のプラグアダプターをご利用下さい。 その際、必ずアースをお取り下さい。
6. POWER ボタンを押すと緑の LED ランプが点灯します。 連続運転の場合、 まず LOW ボタンを押して正常に運転しているか確認後、 ご希望の速度 (MED、 HIGH) をご利用下さい。
PULSE ボタンは押している間だけ HIGH の速度で運転します。
7. 運転中は必ず片一方の手を容器に添えて保持して下さい。 また、 容器のフタ無しでは絶対に運転しないで下さい。
8. 作業が終わったら、 STOP ボタンを押して運転を止め POWER ボタンを押して電源を切って下さい。
9. 容器をモーターベースから外すときはモーターが完全に止まっているのを確認してから外して下さい。 モーターが作動しているときに容器をセットしたり外したりするのは絶対に避けて下さい。
10. モーターベースから容器を外し、 試料を取り出して下さい。
11. 使用後は容器を洗滌し乾燥させて下さい。

容器のお手入れ

使用後の洗滌

ワーリングブレンダーを使用された後は、下記の手順で使用容器を洗滌して下さい。

Ⅰ. 予備洗浄（水又は温水を使って、残った試料を洗い流す。）

Ⅱ. 洗剤洗浄（洗い流し洗浄の後、家庭用中性洗剤を入れて機械で高速回転させて洗浄する。）

Ⅲ. すすぎ洗浄（水又は温水を使って、機械を高速回転させて洗浄成分をすすぎ切ります。）

Ⅳ. 乾燥（排水後、機械を 2 秒ほど高速回転させてカッターアセンブリを乾燥させる。）

Ⅰ. 予備洗浄

1. 本体より容器を取り外して下さい。
2. 水又は温水を流しながら、容器内部、容器フタを洗浄して残った試料のカスを流し切って下さい。

Ⅱ. 洗剤洗浄

1. 容器に容器容量の半分程度の水を入れ、その中に家庭用中性洗剤を 2 ～ 3 滴入れて下さい。
2. 容器に容器フタをきっちりとセットして下さい。
3. 容器を本体にセットして、1 分間「HIGH」(高速) でカッターを回して下さい。
4. 容器を本体から外し、洗浄した水を捨てて、容器を空にして下さい。

Ⅲ. すすぎ洗浄

1. 空になった洗剤洗浄済みの容器の中に、きれいな水を容器容量の半分程度入れて下さい。
2. 容器フタを容器にセットして下さい。
3. 容器を本体にセットして、1 分間「HIGH」(高速) でカッターを回して、洗剤成分を
   すすぎ洗いして下さい。
4. 容器を本体から外し、すすぎ洗いした水を捨てて、容器内を空にして下さい。
5. 再度、容器に水又は温水を容器の MAX ラインまで入れ、カッターを回して
   すすぎ洗いして下さい。
6. 上記のすすぎ洗いをしても洗剤成分が残っている場合は、流水で十分に洗い流して下さい。

Ⅳ. 乾燥

1. 排水後、空の容器を本体にセットして下さい。
2. 2 秒程度「HIGH」(高速) でカッターを回して、カッターアセンブリ－部分の水分を
   取り除いて下さい。
3. 容器、容器フタは水分を十分に切り、きれいな乾いた布で水気を拭き取り、完全に
   自然乾燥させて下さい。

注意事項

◎機械の改造はしないで下さい。 火災、 感電、 怪我の原因になります。
◎電源コードや電源プラグが傷んだり、 コンセントの差込がゆるい時は、 使用しないで
下さい。 感電、 ショート、 発火の原因になります。
◎本体を水につけたり、 水をかける等は絶対にしないで下さい。 感電、 ショートの
原因になります。
◎干し椎茸の塊や根昆布等、 非常に硬いもの、 千切り大根等の繊維質の強い試料の
粉砕はしないで下さい。 破損の原因になります。
◎ガラス製容器を使用する場合、 降下、 上昇の温度差が 40℃以上の急激な冷却や加温を
しないで下さい。 破損の原因になります。
◎運転作業は平らで安定したところで行って下さい。
◎容器の取り付け、 取り外し時は必ず電源プラグをコンセントから取り外してから
行って下さい。
◎試料を入れない状態での空回しは絶対にしないで下さい。
◎屋外では使用しないで下さい。
◎容器内のカッターは鋭利で危険です、 取扱いに十分ご注意下さい。
◎稼働中は容器の中に手や指、 箸、 スプーン等は絶対に入れないで下さい。
◎試運転する場合は容器に半分程度水を入れて行って下さい。
◎一回の運転は 3 分以内で行って下さい。 連続的に使用する場合は。 3 分運転すれば
1 分停止してから再度運転して下さい。
◎容器に組み込まれているカッターアセンブリ－のベアリング、ドライブシャフトやシャフトシール等
には潤滑剤を注入してはいけません。 これらのパーツは工場で潤滑され、 シールされています
ので、 さらなるどのような潤滑剤も必要としません。